マンバサダーライダー・髙田茉莉亜と佐々<u>紫苑</u>の

欧田馬部口第一0

週刊Gallop 2022年2月号掲載



日本中央競馬会所属

◆佐々紫苑 (さっさ・しおん)

ダーライダー。

1995年東京都生まれ。 早稲田大学卒。2012年全 日本ジュニアライダー総 合馬術選手権優勝。15、 16年全日本ヤングライ ダー総合馬術選手権連覇。 20年4月にJRA日本中 央競馬会入会。17年よ り日本馬術連盟アンバサ

馬心伝心 奮闘記partII

佐々紫苑

Shion Sassa

昨年夏の東京オリンピック障害馬術 で金メダルを獲得したイギリスのBen Maher選手。先日アメリカで行われた ある大会で、なんとモサモサのカツラを 被ってスクービー・ドゥーというアメリカ の有名な漫画の仮装をし、華麗に飛越を 決めていました。他にも、何人もの世界 のトップライダーが今大会のテーマであ る『子供向けの本』の世界のキャラクタ ーにふんして、ジュニアライダーとチー ムを組み障害を飛越しました。実はこれ、 大会スポンサーと選手、そして慈善団体

が手を組んで行うチャリティーイベントで、憧れのトップライダーと チームを組むジュニアにとっては、夢のような体験です。海外では スポーツ選手がチャリティーイベントに参加するのはそう珍しいこ とではありませんが、選手活動が社会貢献にも直接結びつく、こん なすてきで楽しい馬術大会が日本でも開催できたら最高ですね。

改修前の馬事公苑で毎年5月に行われていた JRAホースショー でも障害飛越の仮装リレー競技がありました。私もランドセルを背 負った小学校の体操服姿でさっそうと走り抜け、激戦を勝ち抜き 優勝したことがあります。観客の皆さんの笑いは誘えたと思います が、競技そのものがチャリティーイベントとして開催されたら、も っとワクワクできるのではないでしょうか。来年から再開場する馬 事公苑。さまざまな競技会だけでなく、馬とのふれあい、セラピー

活動などを通じ て、馬がもっと皆 さんにとって身近 な存在になれるこ とを心から願って います。

いつかのJRAホース ショーに現れたシンデ レラたち。馬もオシャ レをしていてかわいい です!

(©日本馬術連盟)



Let's enjoy **Dressage**

髙田業莉亜

Maria Takada

私の朝は、馬たちが暮らす厩舎の掃除 からスタートします。ボロ (馬糞) などを 専用のフォークを使ってきれいにとり、寝 床となる敷料をふかふかに敷きます。一 般的な厩舎の敷料は藁か、オガ(木くず) の大きく2つに分かれ、ヨーロッパでは藁、 日本ではオガが比較的安価で手に入りや すく、それぞれの敷料に利点があるので、 馬によって敷料を変えることもあります。

私の勤める厩舎ではオガを使ってい ますが、そのオガは馬の敷料専用のも

のではなく、木材店で木を切る際に出た木くずを余すことなく再 利用させてもらっています。でも再利用できるのはオガだけでは なく、ボロもなんです! 厩舎からとったボロは農家さんのもとへ 運び、堆肥として再利用してもらっています。

これは余談ですが、いつもお世話になっている木材店の従業 員さんが農業をしていて、最近ここでとれたボロを堆肥として使 ってくれるようになりました。今後、収穫できたお野菜を私たち が食べることができたら…、と夢見ています (笑)。 SDGsがい ま注目されていますが、さまざまな資源を無駄にすることなく使 っている馬の厩舎は時代の最先端なのかもしれません。



◆髙田茉莉亜

(たかだ・まりあ)

1994年東京都生まれ。 慶應義塾大学卒。2010、 11年に全日本ジュニアラ イダー馬場馬術選手権連 覇。16年の全日本ヤング ライダー馬場馬術選手権 で史上初の4連覇を達成し た。17年より日本馬術連 盟アンバサダーライダー。



パふ ネか (父ゼンノロブロイ) (本人かのオガの上で気持ちよく寝るマヤ)